

入場無料

※帆船日本丸・横浜みなと博物館を
ご利用の際は入館料が必要です。

※雨天時は展示を中止することがあります。
期間中のお問い合わせは
080-4183-3022 まで。

29th EXHIBIT BEYOND THE HORIZON

2016

七つの海をわたる 船乗りたちが獲らえた 世界の海・街・人々



会場 甲板塗装に明け暮れて(太平洋)

第29回
写真展

は どう こ
波濤を越えて

～横浜みなとみらい～

日本丸メモリアルパーク [特設会場]

Nippon Maru Memorial Park

9.16 [金] - 9.19 [月・祝] *期間中無休

所在地 / 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1

10:00a.m.~5:00p.m. 最終日は4:00p.m.まで

ごあいさつ

GREETING

写真展「波濤を越えて」は1987年、横浜の地で産声^{うぶこえ}をあげてより、
たくさんの方々に支えられ、29回目を迎える事が出来ました。
そして、国内通算1500会場にてミニ写真展を、
また、海外では、アジア、北南米、欧州、アフリカ等、
世界21カ国・地域で開催してまいりました。
さらに、国際海事機関(IMO)や世界各地の海事大学等の
船員教育機関と交流を続けています。



展示されている写真は、船乗りが日々眼にする地球の鼓動、
悠久の海や空の表情、世界の街角や人々との出会い、
心の交流と感動を素直にカメラに収めたものです。
私たちは「海は世界を分断するものではなく、世界を繋ぐもの」と考えます。
私たちが感じた海の大切さ、自然の素晴らしさ、世界の人々との心の触れ合いを、
一人でも多くの方に共有していただければ幸甚です。
開催期間中のお越しを心よりお待ちしております。

第29回 写真展「波濤を越えて」実行委員会



音楽隊と帽子売り
(デンマーク/コペンハーゲン)



大海原の夜明け(北太平洋)



船乗りの母港「横浜」で開く写真展

船員災害防止協会
会長 森本靖之

みなと横浜は船乗りたちの母港である。私が若手の航海士であった頃と比べ、今では港域が広がり背景が随分と立体的になった。海を志す若人を鍛えてくれた帆船日本丸、先の大戦中多くの傷病兵を運び幸運にも戦禍を免れた客船氷川丸、往年の港勢を感じさせる赤レンガ倉庫など、港のLegacy^{レガシー}が数多く存在している。こんな横浜で開かれる写真展 Beyond the Horizonに、波濤を越えて来た船乗りたちの作品が展示される。その会場として此処に勝る所はない。

写真とは不思議なものである。大自然の現象、人や動物の表情、少年時代のスナップなど、過去のある瞬間を捉えている筈なのに、見ていると自分もその場に居て共に時間が流れている。

船乗りの仕事は人目から離れているため、その素晴らしさや厳しさを一般の人々はあまり知らない。社会の理解があってこそ、その職場は活性化され労働災害の減少にもつながる。この素晴らしい企画と舞台の設営に尽力される裏方たちに改めて敬意を表し、一人でも多くの人たちにご覧頂きたいと思う。

主催/
第29回 写真展「波濤を越えて」実行委員会

後援/
横浜市教育委員会
(公財)帆船日本丸記念財団
(公財)日本海事広報協会
全日本海員組合
(一社)海洋会
(一社)全日本船舶職員協会
(一社)日本船長協会 日本海事新聞社
(一社)日本船舶機関士協会 神奈川新聞社
tvk(テレビ神奈川)〈県不同〉



写真展の会場はパーク内の1号ドック。帆船日本丸の前方を取り囲むように作品を展示。抜けるような青空と潮風が心地よい(写真は昨年展示会から)。

【交通案内】 電車 ●JR根岸線、横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」下車 徒歩5分
●みなとみらい線「みなとみらい駅」「馬車道駅」下車 徒歩5分
●首都高速横羽線「みなとみらい出口」から約0.5km
※駐車場はありませんので、周辺の有料駐車場をご利用ください。